

これまで・これから 戦後70年

戦後、新聞はいかに自らの「戦争責任」を論じてきたのか。毎日新聞の西部本社版は、玉音放送翌日の1945年8月16日から5日間、「自批判」をはじめて紙面の一部を白紙で発行した。毎日は29日までに、いち早く奥村信太郎社長ら幹部が退陣している。

初めて新聞社が自身の「戦争責任」に言及したのは23日、朝日新聞の社説「自らを罪するの弁」である。朝日は「国民の歸趣、世論、民意などの取扱に対しても最も密接な関係

終戦直後 社長ら幹部退陣

足 战争責任明確化と民主化制の確立へ」と掲げ、「全従業員は厳粛なる反省に基づき新聞の戦争責任明確化と社内民主主義体制を確立するため、今回社長に全従業員の総意に基づく上申書を提出し、内民主化労働運動の活性化、自己改革の流れとも重なっている。

(「記者の手帖から」と記している。各新聞社では幹部社員とも同様に廃刊への危機感を抱いていた。だが、新聞社は名前を変えることもなく、一部幹部が公職追放(毎日19人)されただけでそのまま存続した。

同時に述べた記事だ。新聞社幹部の責任追及を通じ、從業員の権利確立を目指した社内民主化労働運動の活性化、自己改革の流れとも重なっている。

戦後、新聞はいかに自らの「戦争責任」を論じてきたのか。毎日新聞の西部本社版は、玉音放送翌日の1945年8月16日から5日間、「自批判」をはじめて紙面の一部を白紙で発行した。毎日は29日までに、いち早く奥村信太郎社長ら幹部が退陣している。

初めて新聞社が自身の「戦争責任」に言及したのは23日、朝日新聞の社説「自らを罪するの弁」である。朝日は「国民の歸趣、世論、民意などの取扱に対しても最も密接な関係

ある。1948年の朝日新聞の白虹事件(白虹日を買けり)という言葉が天皇制否定につながると曲解された言論弾圧事件)では、毎日新聞が部数を伸ばそうと画策した。読者も右翼的な論調を歓迎し、メディアも当局に迎合し便乗して发展している。満州事変の時、反対を表明した新聞には、在郷軍人会を中心に行進運動が起つた。41年ごろには、関東軍参謀も毎

新聞が戦争をあおる原点には部数至上主義がある。

1948年の朝日新聞の白虹事件(白虹日を買けり)という言葉が天皇制否定につながると曲解された言論弾圧事件)では、毎日新聞が部数を伸ばそうと画策した。読者も右翼的な論調を歓迎し、メディアも当局に迎合し便乗して发展している。満州事変の時、反対を表明した新聞には、在郷軍人会を中心に行進運動が起つた。41年ごろには、関東軍参謀も毎

日、朝日、読売の3紙と同盟通信が

て、非常に力をついている。この時期、3社が束になればもっと新聞は軍部にやられてしまった。

毎日は社史にも書いているが、新聞社は外国の短波を傍受し戦況を把握していた。事実上負けることを知っているのに、何かに反映できなかつたか。敗戦濃厚になつたとき、和平を求める論調がメディアから全く出ていないのは嘆か

わしい。

各新聞社とも戦争責任の取り方

が徹底していない。戦中に自分の

が行つた「歴史」に対する責任をきちんと総括すべきだ。GHQ

が新聞の責任を追及せず、統治に

役立てたことが大きい。ここでとばかり「反省」しないといとな

った。過去の新聞紙面には責任が

あると書いているが言葉は軽い。

メディアが多様化する中で、新聞は自らの経験を踏まえ、社会や政治を批判する力を鍛えることが求められている。

歴史への総括徹底せず

終戦で転換 良心許さず



山本 武利氏

早稲田大名誉教授(メディア史)

新聞は軍部にやられてしまった。毎日は社史にも書いているが、新聞社は外国の短波を傍受し戦況を把握していた。事実上負けることを知っているのに、何かに反映できなかつたか。敗戦濃厚になつたとき、和平を求める論調がメディアから全く出ていないのは嘆か

わしい。

各新聞社とも戦争責任の取り方が徹底していない。戦中に自分のが行つた「歴史」に対する責任をきちんと総括すべきだ。GHQ

が新聞の責任を追及せず、統治に役立てたことが大きい。ここでとばかり「反省」しないといとな

った。過去の新聞紙面には責任があると書いているが言葉は軽い。

メディアが多様化する中で、新聞は自らの経験を踏まえ、社会や政治を批判する力を鍛えることが求められている。



高杉孝二郎=RKB毎日放送提供

と2面が白紙。18~20日は2面の1~7割に記事がなかつた。西部本社の高杉孝二郎編集局長の判断だった。

「昨日まで鬼畜米英を唱え、焦土決戦を叫び続けた紙面を、同じ編集者の手によって180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が許さなかつた」

当時45歳だった高杉は後に

毎日新聞西部本社(北九州市)

は、異様な新聞を5日間出し

続けた。当時は朝刊のみ、1

枚紙だったが、1945年8

月16日は裏の2面全部が白

紙。17日も1面の下半分近く

ま存続した。

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契

機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契

機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契

機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契

機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契

機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(毎日は49人が解雇)。

一方で新聞社が自身の戦争責

任を主体的に顧みる動きはみられなくなつた。

52年4月、占領が終了した。

新聞は戦争責任を振り返る契

機だったが、当時の紙面からはその姿勢を読み取ることはできない。「つぶされないこと

が分かり、日々の新聞発行に

対して最も密接な関係

ある。

新聞は戦争責任を振り返ること

を、同じ編集者の手によって

180度大転換するような器

用なまねは、どうてい良心が

許さなかつた」

当時45歳だった高杉は部

下と相談し、戦中にストック

していた記事は一切使わない

ことにした。一方で、辞表と

毎日新聞の廃刊を進言する書

簡を奥村信太郎社長に出し

た。言論統制は戦前の軍部、内閣情報局からGHQに引き継がれた。新しい統制者の意向を受け、新聞は敗戦に至る真実を報じ始めた。

同時にソノ戦略や朝鮮戦争を時代背景に、GHQは50年7月、レッドページ(共産主義者の職場からの追放)を実施した(